

**コメント**

**1. 感染性胃腸炎**

定点当り8.0人とやや増加しており 例年同時期と比べてかなり多い状態が続いています。安芸区、中区、佐伯区、安佐北区で定点当り20人以上となっており 東区、南区、西区で定点当り10人以上となっています。

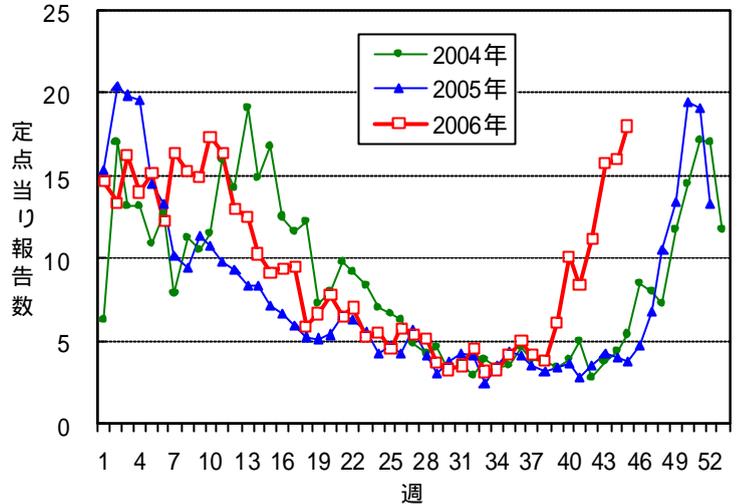
**2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

定点当り1.33人とほぼ横ばいとなっています。佐伯区3.7人、東区、安芸区ともに2.0人となっています。

**3. インフルエンザ**

3人 (定点当り0.08人) 報告されており いずれも西区からの報告で、患者1人からインフルエンザウイルスAノ型が検出されました。

感染性胃腸炎



**5類感染症報告状況 (定点把握対象分)**

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	3	0.08	0.02		麻疹(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	7	0.29	0.06		流行性耳下腺炎	1	0.04	1.16	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	1.33	1.04	⇒	RSウイルス感染症	4	0.17		
感染性胃腸炎	431	17.96	5.15	⇨	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
水痘	15	0.63	1.46	⇩	流行性角結膜炎	3	0.38	0.80	
手足口病	-	-	0.43		細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
伝染性紅斑	10	0.42	0.21		無菌性髄膜炎	-	-	0.26	
突発性発疹	13	0.54	0.69		マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.11	
百日咳	-	-	0.02		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	0.13	0.02						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間の同時期平均(定点当り)  
 (注2)高病原性鳥インフルエンザを除く  
 (注3)成人麻疹を除く  
 (注4)オウム病を除く

**1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)**

類型	疾患名	報告数	累積	備考
5	急性脳炎	1	10	女性(80歳代)

## 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
広島市	第41週	-	2	17	200	5	3	3	14	-	3	-	6	-	-	3	-	-	5	-	-
	第42週	-	4	37	266	22	4	4	21	-	1	-	6	2	-	9	-	-	6	-	-
	第43週	-	5	19	379	10	2	6	12	-	-	-	4	-	-	6	-	-	6	-	-
	第44週	3	6	29	384	23	1	6	12	1	-	-	4	-	1	2	1	1	5	-	-
	第45週	3	7	32	431	15	-	10	13	-	-	3	-	4	1	3	-	-	4	-	-
定点当り	第41週	-	0.08	0.71	8.33	0.21	0.13	0.13	0.58	-	0.13	-	0.25	-	-	0.38	-	-	0.71	-	-
	第42週	-	0.17	1.54	11.08	0.92	0.17	0.17	0.88	-	0.04	-	0.25	0.08	-	1.13	-	-	0.86	-	-
	第43週	-	0.21	0.79	15.79	0.42	0.08	0.25	0.50	-	-	-	0.17	-	-	0.75	-	-	0.86	-	-
	第44週	0.08	0.25	1.21	16.00	0.96	0.04	0.25	0.50	0.04	-	-	0.17	-	0.13	0.25	0.14	0.14	0.71	-	-
	第45週	0.08	0.29	1.33	17.96	0.63	-	0.42	0.54	-	-	0.13	-	0.04	0.17	0.13	0.38	-	-	0.57	-
全国	第43週	0.01	0.28	1.38	5.85	0.83	0.75	0.28	0.64	0.01	-	0.08	-	0.97	0.01	0.75	0.02	0.05	0.57	0.02	-
	第44週	0.01	0.30	1.46	7.08	0.85	0.70	0.30	0.60	0.01	-	0.08	-	0.89	0.02	0.73	0.02	0.04	0.58	0.02	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

## 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	9	女	2006/11/09	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
感染性胃腸炎 腸重積	2	女	2006/09/26	糞便	アデノウイルス3型

## 【参考】広島市におけるインフルエンザの流行状況

(1999/00シーズン～)

シーズン	初めて報告があった週	流行開始の目安である	
		定点当り1人以上となった週	ピークとなった週と その週の定点当り報告数
99/00	第43週 (10月25日～10月31日)	第51週 (12月20日～12月26日)	第4週 (1月24日～1月30日) 50.73人
00/01	第43週 (10月23日～10月29日)	第7週 (2月12日～2月18日)	第11週 (3月12日～3月18日) 2.84人
01/02	第46週 (11月12日～11月18日)	第2週 (1月7日～1月13日)	第8週 (2月18日～2月24日) 47.68人
02/03	第47週 (11月18日～11月24日)	第49週 (12月2日～12月8日)	第3週 (1月13日～1月19日) 36.35人
03/04	第44週 (10月27日～11月2日)	第3週 (1月12日～1月18日)	第6週 (2月2日～2月8日) 36.22人
04/05	第47週 (11月15日～11月21日)	第3週 (1月17日～1月23日)	第8週 (2月21日～2月27日) 55.84人
05/06	第41週 (10月10日～10月16日)	第49週 (12月5日～12月11日)	第4週 (1月23日～1月29日) 51.08人
06/07	第44週 (10月30日～11月5日)		

初めての患者は、10月から11月に報告されている。

1999/00シーズンから2005/06シーズンまでの7シーズンのうち3シーズンは、12月中に、流行開始の目安である定点当り1人を超えた。

流行のピークは、すべて年が明けてからであった。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [eiken@city.hiroshima.jp](mailto:eiken@city.hiroshima.jp)

2006年第45週 (1月6日～11月12日)